

管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	朝日総合体育館 他6施設	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	特定非営利活動法人 総合型地域スポーツクラブ 愛ランドあさひ	所管課	生涯学習 課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	平山 祐子

1 令和6年度の実績

(1)事業実績

利用実績	利用者数(7施設):37,286人、スポーツ事業:14事業実施(参加者数2,835人)
サービス向上の 取組	・指定管理施設や地域資源を活かし、四季を通じ年齢層別に応じた事業を実施した。 ・日常的な施設点検を行い業者と現状を確認しながら施設維持管理及び修繕措置を行った。 ・SNSを活用した事業や施設に関する情報配信の継続のほか学生スタッフを獲得することができた。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (R4年度)	前年度 (R5年度)	当該年度 (R6年度)	合計	備考		
収入	指定管理料	42,653	42,471	42,590	127,714	基本協定額:	210,285	千円
	利用料金	421	522	504	1,447			
	事業収入	375	587	721	1,683			
	自主事業収入	177	241	398	816			
	その他	175	199	155	529			
	収入合計 ①	43,801	44,020	44,368	132,189			
支出	人件費	15,072	14,339	14,465	43,876			
	福利厚生費	2,739	2,313	2,353	7,405			
	事務費	1,072	908	881	2,861			
	管理費	19,266	20,221	20,168	59,655			
	水道光熱費	6,176	6,208	5,948	18,332			
	修繕料	1,647	1,649	1,649	4,945			
	使用料・リース料	1,973	2,049	1,813	5,835			
	手数料・保険料	495	510	426	1,431			
	委託料	8,975	9,805	10,332	29,112			
	事業費	1,175	1,336	1,628	4,139			
	自主事業経費	174	185	342	701			
	その他	4,255	3,638	3,716	11,609			
	支出合計 ②	43,753	42,940	43,553	130,246			
収支差額(①-②)		48	1,080	815	1,943			

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考(所管評価) (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題	
○施設の老朽化 施設の老朽化が進んでいる。予算の範囲内で修繕を行っているが、1件あたりの修繕工事の規模が拡大傾向にあるほか、物価高騰で費用も高額になっている。	
○水銀灯の生産終了に伴う屋内外設備の計画的なLED化 朝日総合体育館アリーナ及び朝日多目的グラウンドのランプ(水銀灯)及び安定器の生産が終了しメーカー在庫のみ(R7.3時点)。 また、安定器は屋内外ともにメーカー在庫もなくなっているため安定器の取替修繕は不可能である。 ランプも在庫数に限りがあるため早急なLED化計画が必要であるが、取替費用が高額なため市と連携を図り段階的な計画が必要である。	
○物価高及び賃金水準の急激な上昇に対応した人件費・委託料等の見直し 最低賃金が年々引き上げられているが、指定管理料の人件費は5年間定額となっているが、社会一般の雇用労働環境の目安である賃金水準の変動に対応していないため賃金水準スライドの導入等を希望する。 また、最低賃金の引き上げは、指定管理業務の日常清掃や代行業務等の業務委託料や法令に基づく建築物定期調査や消防設備点検等にも影響していることから、業務委託料等においても5年間定額から物価及び賃金水準に対応が必要である。	
(2) 課題解決に向けた取組	
○施設の老朽化への対応 教育委員会ははじめ朝日支所関係課等への相談により的確な助言をいただきながら維持管理業務を行っている。 また、限られた予算内での修繕措置や施設維持管理は、業者と現状を確認しながら実施している。	
○SNSによる屋外作業協力等の呼びかけ 夏季の散水作業ではアルバイト募集のSNSの呼びかけで地元大学生等数名の人材を確保でき、作業協力を得ることができたことにより、職員の負担軽減につながった。また、作業協力した学生等がその後様々なイベント運営にも参画した。	
○職員の確保と雇用継続 令和5年度から導入した分断業務は、職員の多様なライフスタイルに対応している。 雇用継続を目指し次期指定管理更新に向け指定管理料の人件費引き上げを市へ要望していきたい。 また、引き続き受託事業の拡充等財源の安定化にも注力していきたい。	
(3) その他	
①利用者からの主な意見や苦情、対応策	
○朝日総合体育館及び朝日多目的グラウンド照明の取替修繕措置 照明の不点灯の取替修繕工事は高額なため、一度に(一気に)取替修繕ができていないため競技によって支障を来すことがある。 屋内外施設の照明(水銀灯)及び安定器が生産終了していることから、業者と調査・確認しながら令和6年度には屋内照明の取替修繕を実施し、令和7年度に屋外照明について同様に行うこととしている。	
○遊具の要望 朝日山村広場に設置されている滑り台及び4連ブランコが錆による腐食が進行しており、R5年度から滑り台を使用禁止とした。 朝日地区内で安心して遊べる唯一の施設であることから、引き続き市へ遊具の更新の要望を提出していきたい。	
②その他	
○旧小学校体育館(長津体育館・高根体育館)の取扱いについて 過去3年間利用がほとんど見られない中、指定管理者として維持管理を行っている。 利用内容も集落等の地域団体が地域行事の利用に留まっていることから、市として今後の運用を検討していただきたい。	

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価	
施設管理では全職員及び役員等による徹底した管理を行っている。 R6年度はSNSでの散水作業の呼びかけに大学生等が大勢集まり、その後のイベント事業の運営にも参画した。 事業企画運営は、職員や部会員等の多種多様な知見を活かしながら実施している。 中でも指定管理施設の特性を活かし、地域の子供達が親子で楽しめるスポーツフェスタや雪フェスでは、地元事業所や学生スタッフが運営に携わりブースが年々拡大している。R6年度は新たに食生活推進委員協議会のブースも設置され減塩に関するアンケート調査等も行われた。 この賑わいを受けて会員家族から出店希望する声も上がっており、これまでの開催の積み重ねとなっている。	
(2) 施設所管課の評価	
夏場の散水作業では、大学生等の参画により、職員の負担軽減が図られていることよりも大学生等の確保にSNSを活用したことは良い手法。また、大学生等がその後のイベントにも参画していることは地域の人材発掘に繋がっていると思われる。 体育施設を活用した地域の賑わい創出にも寄与するような取組は、地域のまちづくりや地域の活性化にも影響を及ぼすので、今後も継続していくべきものであり、評価できる。	
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)	
SNSの活用について、大学生等だけでなく、事業への参加者募集等にも活用できると思うので、更に活用の幅を広げてもらいたいし、他地域のクラブとも共有してもらいたい。 利用者との良好な関係を保ちながら、適正な施設管理と利便性やサービスの向上に努めてもらいたい。 事業の改善、創意工夫を凝らした事業の企画立案等を行うなど、地域福祉の増進や地域貢献の向上にも取り組んでもらいたい。 新たな収入確保と経費節減に努め、適切な管理運営を行うよう努めてもらいたい。	